

# 農林水産商工常任委員会資料

## (平成26年7月2日)

項 目	ページ
1 鳥取発次世代社会モデル創造特区の取組状況について	
	【商工政策課】…………… 1
2 株式会社グッドスマイルカンパニーの倉吉市進出に係る調印式の実施について	
	【立地戦略課】…………… 2
3 株式会社ナノオプトニクス・エナジーの状況と今後の対応について	
	【立地戦略課】……………別紙
4 環日本海定期貨客船航路就航5周年事業等について	
	【経済産業総室（通商物流室）】…………… 4
5 境港国際定期コンテナ航路の増便等について	
	【経済産業総室（通商物流室）】…………… 5
6 平成26年5月分の雇用失業情勢について	
	【雇用人材総室（就業支援室）】…………… 6
7 緊急雇用創出事業の平成26年度の追加執行状況について（7/2現在）	
	【雇用人材総室（就業支援室）】…………… 7
8 立命館大学との就職支援に関する連携協定の締結について	
	【雇用人材総室（就業支援室）】…………… 8

# 鳥取発次世代社会モデル創造特区の取組状況について

平成26年7月2日  
商工政策課

西部圏域の地域資源を活用して地域の課題を解決する新たなサービスモデルを創出する「鳥取発次世代社会モデル創造特区」（平成24年7月25日区域指定、平成25年6月28日計画認定）の3つのモデル事業の取組状況について報告します。

## 1 商店街の利便性を高めるe-モビリティ交通サービス（米子市）

- ・ H26年4月16日、地元企業（岡田商店(株)）がEV（リーフ1台）を使ったカーシェアリングを米子市法勝寺町で開始した。
- ・ H26年10月以降、超小型モビリティ（ニューモビリティコンセプト2台）を使い、米子市法勝寺町等でカーシェアリングを開始する予定である。



リーフ



ニューモビリティコンセプト

## 2 再生可能エネルギーによる災害時集落無停電サービス（江府町）

- ・ サービス対象地域の電力消費量調査が終了し（～H26年3月31日）、おおよその消費パターン（1日、季節）がわかり、平均気温から電力使用量を推計することが可能となった。
- ・ 今年度は、サービス提供により電気機器、設備等が故障するリスクを回避するため、電力消費量調査の結果と小水力発電の発電量との電力需給シミュレーションを行いシステムの性能を検証する。（業務委託）
- ・ H26年6月11日、電気事業法改正案が参議院で可決・成立し、H28年から電力小売は全面自由化される。価格、付加サービスを判断基準に消費者が電力会社を選べる時代になるため、再生可能エネルギーを活用した地産地消型電力会社の誕生も期待される。
- ・ 今後は安全性を確保した上で、技術実証などを踏まえて、具体的なサービス内容を検討する。

## 3 健康情報を高度利用する健康づくりサービス（南部町）

- ・ 地元のNPO（スポnetなんぶ）が味の素(株)と連携してロコトレ※運動教室をH26年5月から開始した。今年度は教室を合計3期（定員は20人/期）開催する予定である。
- ・ アミノインデックスで生活習慣病に関するリスク（内臓脂肪蓄積など）判定が可能となった。今後、AICS受診者へ食生活アンケートを実施し、メタボ対策にも活用する予定である。



ロコトレ運動教室

※ ロコトレ：ロコモティブシンドロームを防ぐトレーニング。ロコモティブシンドロームとは、筋力の低下等により転倒、骨折しやすくなること。介護の危険性が高い状態。

# 株式会社グッドスマイルカンパニーの倉吉市進出に係る調印式の実施について

平成26年7月2日  
東京本部  
立地戦略課

キャラクターフィギュアの製造・販売を行う株式会社グッドスマイルカンパニー（本社：東京都墨田区）が、国内工場設置に伴い、倉吉市内に進出することが決定し、工場の一部賃貸をはじめ同社の進出に協力したオンキョートレーディング株式会社、及びこれを支援する鳥取県・倉吉市との間で、下記のとおり協定書の調印を実施しました。

## 記

### 1 企業概要

- |           |                                  |
|-----------|----------------------------------|
| (1) 名称    | 株式会社グッドスマイルカンパニー                 |
| (2) 代表者   | 代表取締役社長 安藝 貴範（あき たかのり）           |
| (3) 本社所在地 | 東京都墨田区押上1-1-2 東京スカイツリーイーストタワー17F |
| (4) 資本金   | 300万円                            |
| (5) 従業員数  | 65人（平成26年3月時点）                   |
| (6) 事業内容  | キャラクターフィギュアの開発、製造、販売             |



【製品名】ねんどろいど

- ・完成品フィギュアとしては異例の、2.5頭身の斬新かつ、かわいらしいデフォルメ。
- ・首の向きや腕を動かすことができ、また豊富な顔や手足パーツを入れ替えることにより様々なポーズを取らせることができる。

### 2 立地計画概要

- |          |   |
|----------|---|
| (1) 名称   | 株式会社グッドスマイルカンパニー 鳥取倉吉工場                                 |
| (2) 開設場所 | 倉吉市秋喜243番地<br>(西倉吉工業団地内 オンキョートレーディング(株)空き工場 約3,000㎡を賃貸) |
| (3) 事業内容 | キャラクターフィギュアの開発、製造                                       |
| (4) 投資額  | 約4億2,000万円  |
| (5) 雇用計画 | 100名程度  |
| (6) 操業開始 | 平成26年10月（予定）  |

### 3 調印式

- |         |                               |        |      |
|---------|-------------------------------|--------|------|
| (1) 日時  | 平成26年6月26日（木）14時40分から15時40分まで |        |      |
| (2) 場所  | 知事公邸 第1応接室                    |        |      |
| (3) 出席者 | 株式会社グッドスマイルカンパニー 代表取締役社長      | 安藝 貴範  | たかのり |
|         | オンキョートレーディング株式会社 代表取締役社長      | 大津 一翁  | おおく  |
|         | 鳥取県 知事                        | 平井 伸治  | ひらい  |
|         | 倉吉市 市長                        | 石田 耕太郎 | いしだ  |



# 協 定 書

株式会社グッドスマイルカンパニー（以下「甲」という。）、オンキョートレーディング株式会社（以下「乙」という。）、及び鳥取県（以下「丙」という。）並びに倉吉市（以下「丁」という。）は、甲の倉吉市への進出について次のとおり協定する。

第1条 甲は、別紙1のとおり倉吉市に工場を設置するものとする。

第2条 丙及び丁は、前条に定める工場の設置及び操業が支障なく円滑に行われるよう、誠意をもって協力するものとする。

第3条 甲と乙とは、工場の賃貸借その他の将来的な協業を通じて、甲乙相互が発展するために、協力し合うものとする。

第4条 甲は、法令等の規定を遵守し、特に工場の設置、運営等に当たっては、公害の発生防止と周辺環境の保全に努めるものとする。

第5条 甲は、従業員の採用に当たっては、倉吉市在住者の積極的な採用に努めるものとする。

2 丙及び丁は、甲の人材確保に当たっては、誠意をもって協力するものとする。

第6条 甲は、事業に当たっては、鳥取県内企業への受発注に努めるものとする。

第7条 甲が別紙1のとおり倉吉市に工場を設置することに対し、丙及び丁は、別紙2に定める支援を行うものとする。

第8条 甲、乙、丙及び丁は、この協定に定める事業を実施する上で知り得た他の当事者の営業、人事、技術その他の業務上の機密（以下「機密情報」という。）を保持するものとし、第三者に開示し、又は漏えいしてはならない。ただし、機密情報を開示しようとする者があらかじめ書面により当該機密情報を保有する他の当事者の同意を得た場合は、この限りでない。

第9条 この協定に定める事項について疑義が生じたとき、及びこの協定に定めのない事項については、甲、乙、丙及び丁が協議して定めるものとする。

平成26年6月26日

甲 東京都墨田区押上1-1-2株式会社グッドスマイルカンパニー代表取締役社長

乙 鳥取県倉吉市秋喜243番地オンキョートレーディング株式会社代表取締役社長

丙 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地鳥取県鳥取県知事

丁 鳥取県倉吉市葵町722番地倉吉市倉吉市長

（別紙1）

## 進 出 計 画 概 要

1 事業所の名称	株式会社グッドスマイルカンパニー 鳥取倉吉工場
2 所在地	倉吉市秋喜243番地（西倉吉工業団地）
3 操業開始	平成26年10月（予定）
4 事業内容	キャラクターフィギュアの開発、製造
5 雇用計画	100名程度（3年間）

（別紙2）

### 1 鳥取県の支援

- ・鳥取県企業立地等事業助成条例（平成25年鳥取県条例第8号）に基づく支援
- ・働くぞ！頑張る企業を応援する鳥取県正規雇用創出奨励金支給要領（平成23年4月1日制定）に基づく支援
- ・鳥取県企業立地等事業による新規雇用者研修費補助金交付要綱（平成24年8月17日制定）に基づく支援

### 2 倉吉市の支援

- ・倉吉市企業立地促進事業助成規則（平成26年倉吉市規則第2号）に基づく支援

# 環日本海定期貨客船航路就航5周年事業等について

平成26年7月2日  
 経済産業総室  
 通商物流室

## 1 航路就航5周年事業について

### (1) 5周年記念セレモニー

環日本海定期貨客船航路が本年6月末で就航5周年を迎えたことから、これまでの航路のあゆみを振り返るとともに、航路のさらなる認知度の向上と利用促進に資するため、次のとおり記念セレモニーを開催する。

- ア 日時 平成26年7月5日(土) 17時15分～18時15分
- イ 場所 境港国際旅客ターミナル内
- ウ 参加者 運航会社、荷主企業、旅行会社、経済団体、議会、行政関係者等
- エ 内容 関係者挨拶、運航会社挨拶、「航路5年間のあゆみ」紹介、花束贈呈ほか
- オ その他 船舶入港時(7月4日午前9時)に着ぐるみ等による出迎え、記念品配布等の歓迎イベントを実施

### (2) 5周年記念旅行商品

航路就航5周年及び鳥取県江原道友好交流20周年を記念し、民間旅行会社がDBSクルーズフェリーとアジアナ航空を組み合わせた旅行商品を造成した。

- ア 旅行商品名 江原道・ソウル4日間
- イ 出発日 6月28日(土)、7月5日(土)、7月12日(土)
- ウ 旅行企画・実施 (株)一畑トラベルサービス

### (3) 航路を利用した各種交流事業

今後、ロシア沿海地方青少年環境交流事業(7/18～26)、日韓少年サッカー交流事業(8/9～15)など、DBS航路を利用した各種交流事業が予定されている。

## 2 競合する航路(東草～ザルビノ・ウラジオストク航路)の動向

- ・昨年3月19日に就航したステナデアライン(株)が運航する東草～ザルビノ・ウラジオストク航路が6月27日より運航中断となった。
- ・セウォル号沈没事故等の影響による旅客の急減、赤字累積などが、運航中断の理由として挙げられている。

### <参考>

#### (5年間の主な実績)

- ・運航船舶の定期点検や荒天以外は定期運航を継続し、本年5月末現在で、日韓口航路全体の乗客数は延べ21万6千人を超え、また取扱貨物量も11万7千トン余りとなった。
- ・50カ国以上から約5万8千人が航路を利用し来県するなど外国人観光客が増加した。
- ・県内企業約40社が航路を利用し、特に境港からロシアへの輸出が就航当時の平成21年と比べて平成25年は5.1倍に増加した。
- ・間接的な効果として、CIQ体制の充実等により境港に大型クルーズ船の寄港が相次いでいる。

就航以来の運航実績(2009年6月29日～2014年5月31日)

※韓国東海市まとめ

区 分		境港～東海(貨物はワグノストク含む)	東海～ワグノストク
総合計	551往復	305往復	246往復
旅客数	216,064人	125,488人(411人)	90,576人(368人)
貨物量	117,800ト	29,160ト(95ト)	88,640ト(360ト)

※( )内は1往復あたりの平均

# 境港国際定期コンテナ航路の増便等について

平成26年7月2日  
 経済産業総室通商物流室  
 空 港 港 湾 課

このたび境港に寄港する韓国航路の増便や船舶の大型化等がされたことにより、境港の国際定期航路が週6便から週7便となるとともに、コンテナ積載量の増加など、境港利用荷主企業の利便性が向上します。

## 1 高麗海運(株)の増便

- (1) 開始日 境港初寄港日 6月27日(金)より増便
- (2) 寄港日 毎週金曜日
- (3) 寄港地 釜山—金沢—秋田—新潟—**境港**—釜山
- (4) 投入船 SUNNY LINDEN 3,996トン 342TEU積み

※初寄港に当たり境港貿易振興会事務局より安全祈願を込めて船長に花束贈呈等を行いました。

## 2 興亜海運(株)の配船変更(船舶の大型化)

- (1) 変更日 5月7日(水)
- (2) 寄港日 変更なし(毎週金曜日)
- (3) 寄港地 変更なし(釜山—金沢—敦賀—舞鶴—金沢—**境港**—釜山)
- (4) 投入船 ELLY 6,701トン、672TEU積み  
 (変更前: Hung-A Tokyo 4,914トン、420TEU積み)

## 3 長錦商船(株)の配船変更(船舶の大型化に伴うコンテナ RORO 併用船→コンテナ専用船への変更)

- (1) 変更日 6月25日(水)境港寄港分より
- (2) 寄港日 変更なし(毎週水曜日)
- (3) 寄港地 変更なし(釜山—**境港**—舞鶴—敦賀—金沢—敦賀—釜山)
- (4) 投入船 KHARIS VENUS 3,994トン、338TEU積み  
 (変更前: Sinokor Ulsan 5,356トン、255TEU積み)

【中国航路】 週1便(毎週月曜日 寄港)								
月	上海— <b>境港</b> —新潟—富山—直江津—小樽—富山—金沢—上海					【輸入】	上海から3日	(船社) 神原汽船(株) (代理店) 境港海陸運送(株)
	(金)	(月)	(火)	(水)	(木)	【輸出】	上海まで11日	
【韓国航路】 週5便(毎週月・水・金・土曜日 寄港)								
月	釜山— <b>境港</b> —金沢—直江津—酒田—釜山					【輸入】	釜山から1日	(船社) 高麗海運(株) (代理店) 境港海陸運送(株)
	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	【輸出】	釜山まで5日	
金 (増便)	釜山—金沢—秋田—新潟— <b>境港</b> —釜山					【輸入】	釜山から5日	
	(日)	(月)	(火)	(水)	(金)	【輸出】	釜山まで1日	
土	釜山—酒田—富山—金沢— <b>境港</b> —釜山					【輸入】	釜山から5日	
	(月)	(水)	(木)	(金)	(土)	【輸出】	釜山まで1日	
金 (大型化)	釜山—金沢—敦賀—舞鶴—金沢— <b>境港</b> —釜山					【輸入】	釜山から5日	(船社) 興亜海運(株) (代理店) 海上組境港支店
	(日)	(月)	(火・水)	(水)	(木)	【輸出】	釜山まで1日	
水 (大型化)	釜山— <b>境港</b> —舞鶴—敦賀—金沢—敦賀—釜山					【輸入】	釜山から1日	(船社) 長錦商船(株) (代理店) 境港海陸運送(株)
	(火)	(水)	(木)	(木)	(金)	【輸出】	釜山まで4日	
【環日本海圏国際フェリー航路】 週1便(毎週金曜日入港・土曜日出港)								
金・土	東海—ウラジオストク—東海— <b>境港</b> —東海					【輸入】	東海から14時間	(船社) DBSクルーズフェリー(株) (代理店) 海上組境港支店 ※冬期は11月中下旬頃から3月中旬頃まで
	通常	(日)	(月)	(水)	(木)	【輸出】	ウラジオストクから2日	
	冬期	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	【輸出】	

# 平成26年5月分の雇用失業情勢について

平成26年7月2日  
雇用人材総室就業支援室

〇県内の5月の有効求人倍率は、平成10年2月以来16年3か月ぶりに1.0倍を超え、1.02倍となった。

- ・有効求人数も前年同月を2年2か月連続して上回るなど、雇用情勢は改善傾向が続いている。
- ・全国の有効求人倍率は、1.09倍であった。

## 1 有効求人倍率の状況

- ・平成26年5月の有効求人倍率は、1.02倍で、前月を0.03ポイント上回った。
- ・全国の有効求人倍率は1.09倍で、前月を0.01ポイント上回った。

<地域別有効求人倍率(原数値)>

東部(鳥取) 0.79倍	前月 0.80倍	※県全体の有効求人倍率は、季節における変動要因を除外した季節調整値で算出。
中部(倉吉) 0.76倍	前月 0.75倍	
西部(米子) 1.02倍	前月 1.06倍	

## 2 正社員の有効求人倍率の状況

- ・平成26年5月の県内の正社員の有効求人倍率は、0.49で、前月を0.01ポイント上回った。
- ・全国の正社員の有効求人倍率は0.60で、前月を0.01ポイント下回った。

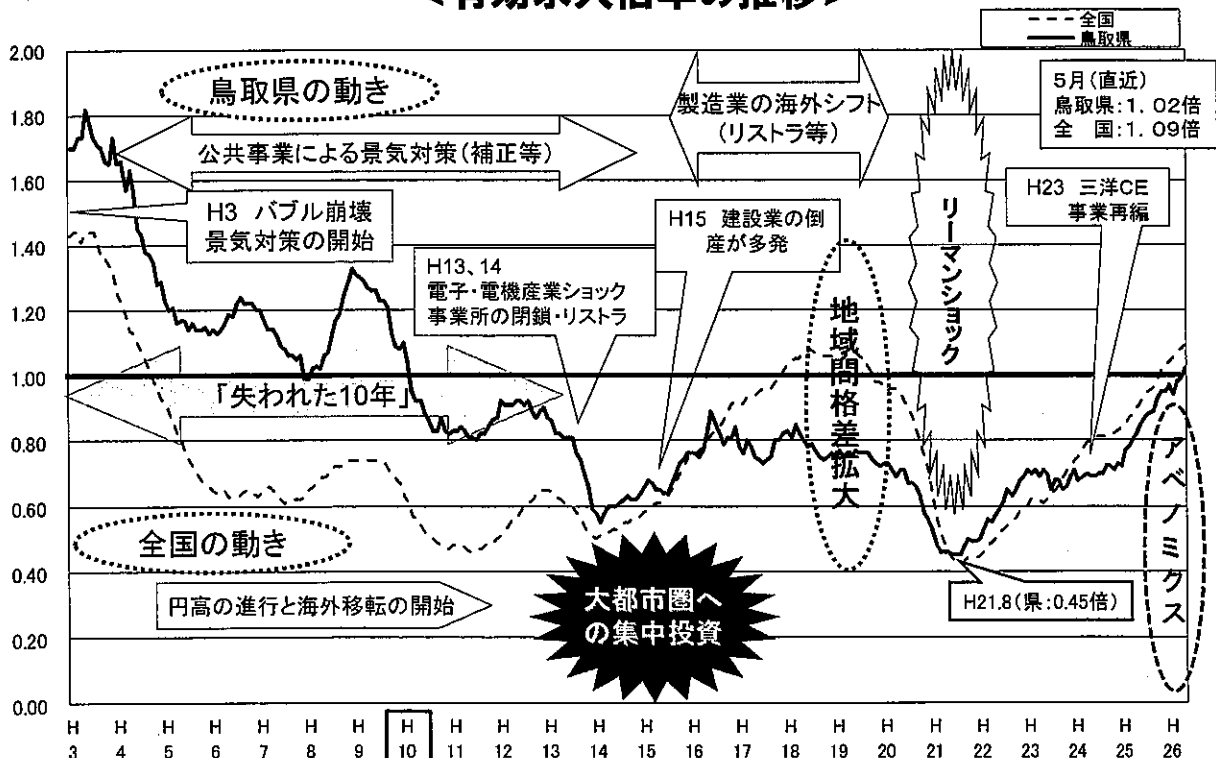
<地域別正社員有効求人倍率>

東部(鳥取) 0.39倍(原数値)	前月 0.37倍
中部(倉吉) 0.45倍(原数値)	前月 0.42倍
西部(米子) 0.64倍(原数値)	前月 0.66倍

## 3 有効求人数等の状況

- ・有効求人数は、先月から、製造業、サービス業等すべての産業で減少(先月まとまった求人が出たことによる反動減)しているが、産業全体で2年2か月連続で前年同月を上回るなど雇用情勢は改善傾向が続いている。
- ・新規求職者は、3,081人(前月比29.6ポイント減少)で、前年同月を10か月連続して下回っている。

### <有効求人倍率の推移>



# 緊急雇用創出事業の平成26年度の追加執行状況について(7/2現在)

平成26年7月2日  
雇用人材総室  
就業支援室

緊急雇用創出事業の今年度の県事業予備枠を活用して追加執行することとなった事業の状況については、下記のとおりです。

## 記

### 1 執行状況

単位：千円

事業名	H26 予算額 ①	①のうち 県事業額 ②	②のうち 予備枠 ③	今回報告 ④	予備枠残 額 ③-④
地域人づくり事業	1,150,288	850,288	65,888	17,324	48,564

※予算額から県事業額を除いた残りは、市町村補助事業として実施するもの

<参考>

#### ○地域人づくり事業

地域において、産業や社会情勢等の実情に応じた多様な「人づくり」により、若者や女性、高齢者等の潜在力を引き出し、雇用の拡大及び処遇の改善に取り組む事業

### 2 追加執行内訳(4月1日以降に追加決定した事業)

#### ○地域人づくり事業

##### ・雇用拡大プロセス/雇成型(雇入れを伴うもの)

所属名	事業名	雇用創 出人数 (人)	事業費 (千円)	左のうち 人件費 (千円)	事業内容
西部総合事務所 地域振興局	西部総合事務所 食堂を活用した 障がい者支援事 業	1人	2,131	1,791	障がい者の福祉団体に西部総合事務所食堂を貸し付け、その運営を任せることで、福祉事業所の事業拡大及びそれに伴う食堂経営の技能取得を図り、もって障がい者の社会参画及び賃金の向上に資する。また、事業拡大により、介護ヘルパーが不足するため、その資格を取得させ、障がい者の食堂従業員の介護等を行う人材を育成する。
畜産課	畜産物生産・消 費拡大チャレン ジ支援事業(増 額)	1人	3,000	2,047	販路開拓強化を目的に県内畜産物のギフト商品等をさらに優れたものにするために、新たに1名雇用し、実務と食肉加工技術、食品衛生法等の研修により、商品開発・販路開拓等を行う人材を育成する。
今回報告分計		2人	5,131	3,838	

##### ・雇用拡大プロセス/非雇成型(雇入れを伴わないもの)

所属名	事業名	雇用創 出人数 (人)	事業費 (千円)	左のうち 人件費 (千円)	事業内容
雇用人材総室	女性の就業支援 モデル事業(増 額) ※常任委員会 (H26.4.21)で説 明済	支援効果 250人	12,193	-	女性の就業を総合的に支援するため、新たに女性就職支援センター(レディース仕事ぶらさ)を県内3箇所に設置し、就職相談等の就職支援を行うと共に、育児・産休代替職員等の求人ニーズのある企業に対して、登録者の紹介などを行う。

(※) 就職相談等の就職支援、職業紹介等の支援により、創出された就職・就業者数。



## 立命館大学との就職支援に関する連携協定の締結について

平成 26 年 7 月 2 日  
関 西 本 部  
雇 用 人 材 総 室 就 業 支 援 室

関西における県出身学生等の I J U ターン就職を押し進めるため、このたび立命館大学（京都市中京区）との就職支援協定を締結し、調印式を以下のとおり実施する。

### 1 就職支援協定の目的・狙い

- ・関西圏で県出身在籍者数が第 10 位（95 名（H25.4 現在））であり、法・経済・経営等の文系学部のほか、理工・情報理工・生命科学といった理系学部を有しており、U ターン就職率の低い理系学生への働きかけに資することができる。
- ・県内大学にない薬学部（入学定員 100 名）を有し、不足傾向にある薬剤師確保の取組を進めることができる。
- ・学生数は 32,524 人（H25.4 旺文社教育情報センター調べ）と、関西圏の大学の中で最多であり、全国でも日本大学・早稲田大学に続いて第 3 位となっている。県出身学生以外に、I ターンを希望する他地域出身学生への波及効果も期待できる。

### 2 協定内容及び取組み

協定は県、大学と、公益財団法人 ふるさと鳥取県定住機構を含めた 3 者で締結し、学生へ直接かつ密接的な情報発信や支援体制で取り組む。

- (1) 学生に対する鳥取県内の企業情報、各種就職イベント等の周知に関すること
  - ・県出身学生へのメール配信等による直接的な情報発信、情報提供
- (2) 大学学内で行う就職相談会、企業説明会等の開催に関すること
  - ・学内就職相談会、企業ガイダンスの実施
- (3) 学生の保護者に対する I J U ターン就職に係る情報提供に関すること
  - ・地元開催の保護者会への県、定住機構職員の参加による情報提供
- (4) 学生の就職に係る情報交換及び実績把握に関すること
  - ・県内出身学生（入学、就職時）の数値情報、傾向等の提供
- (5) その他学生の I J U ターン就職促進に関すること
  - ・企業と大学の担当者との情報交換会への開催

### 3 日程等

- (1) 日 時 7 月 5 日（土）午前 10 時～11 時 40 分
- (2) 場 所 立命館朱雀キャンパス（京都市中京区西ノ京朱雀町）
- (3) 出席者 かわぐち きよみ 川口 清史 立命館大学学長、ひらい しんじ 平井 伸治 鳥取県知事、いけがみ かつし 池上 勝治（公財）ふるさと鳥取県定住機構理事長、県出身学生 ほか 約 30 名予定
- (4) 内 容
  - ア 調印式（10:00～10:25） 協定書の調印・署名セレモニー、代表者挨拶、記念撮影 等
  - イ 交流会（10:30～11:40） 軽食を取りながらの交流・歓談 等

#### <参考>立命館大学概要

- ・1869 年（明治 2 年）、西園寺公望が私塾「立命館」を創始。その後、文部大臣時代の西園寺の秘書であった中川小十郎が、その意思を引き継ぎ立命館大学の前身となる「私立京都法政学校」を設立。
- ・これまでに徳島県・広島県・高知県・香川県・岡山県・北海道・長野県・愛媛県との就職支援協定を締結しており、都道府県との協定は鳥取県が 9 例目。

#### <参考>就職支援協定

- ・県外に進学する高校生のおよそ半数（800 名程度）は関西圏の大学等に進学しており、龍谷大学との包括連携協定に基づく「関西圏人財確保モデル事業」の成果、また関西圏への大学の協力を得て実施した U ターン就職率の調査等を踏まえ、大学との連携協定に基づく就職支援事業は県内への人材確保において有効と認められる。
- ・県外の大学との就職支援協定は、龍谷大学（京都市）との包括連携協定（平成 22 年 7 月）、神戸学院大学（神戸市）との就職支援協定（平成 26 年 2 月）に次ぐ 3 例目。引き続き関西圏の大学のさらなる連携・協力を得て、鳥取ゆかりのネットワーク等の活用も図りながら、地域経済を支える人材の育成及び確保の強化に努めるものとする。